



調布メディアアートラボ



# VISION IN MOTION 2021

— 道具とからだを動かして、変化する光と音、イメージで遊ぼう！



デジタル・テクノロジーを利用した芸術表現、メディアアートを紹介する「調布メディアアートラボ」。メディアアートの第一線で活躍するアーティスト児玉幸子さんと、電気通信大学の学生による体験型メディアアートをご紹介します。体やボールの動きに合わせて映像が変化する作品を実際に体験して、全身でメディアアートの魅力を味わおう！

## 2021.12.4 SAT - 12.5 SUN

場所：調布市文化会館たづくり1階 むらさきホール

参加無料	各回30人(申込先着順)	参加申込開始/10月27日(水)9:00~
おすすめ 未就学児	① 10:30~11:15 ② 11:45~12:30	申し込みはこちらから Peatix 
おすすめ 小学生	③ 14:00~14:45 ④ 15:15~16:00	
おすすめ 中学生以上	⑤ 16:30~18:00 ※各回15分前受付開始	

主催 公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団  
Foundation for the promotion of Chofu city's culture and community  
〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1 Tel 042-441-6150

 調布市文化・コミュニティ振興財団  
 @chofu\_zaidan  
#調布メディアアートラボ

後援 調布市教育委員会 J:COM 調布FM 83.8MHz  
国立大学法人電気通信大学(児玉幸子研究室)  
協力 児玉幸子スタジオ株式会社



【開催日】

12月4日(土)・12月5日(日)  
参加無料／各回30人(申込先着順)

おすすめ 未就学児

おすすめ 小学生

おすすめ 中学生以上

① 10:30~11:15

② 11:45~12:30

③ 14:00~14:45

④ 15:15~16:00

⑤ 16:30~18:00

※各回15分前受付開始

【参加申込開始日】

10月27日(水)9:00~

【申込方法】

Peatixから必要事項を入力のうえお申込みください

※チケットはお一人様につき1枚お申込みください。複数人で参加される場合は人数分のチケットが必要です



Peatix

主な展示作品 (全て観客参加型のインタラクティブアートです)。またこのほかにも、現在進行形で制作中のメディアアートを紹介します。



そらだま

モーションセンサーと赤外線LEDを組み込んだボールを転がして、床面に投影されたCG映像を変化させて遊びます。ボール遊びとプロジェクションマッピングを組み合わせた、体全体を使うメディアアート・エンターテインメントです。

協力：藤本彬／写真：浜田市世界子ども美術館



テ布林 in 新竹取物語

モーションセンサーを組み込んだ道具を動かすと、音楽と映像が生成されるシステムです。2021年3月に開催されリモート演劇「新竹取物語」では、幻想的な色光と音色を生成するパフォーマンスが相良ゆみさんによって行われました。「テ布林」を動かして変化する光と音で遊びます。

CG：浅間裕貴、横山大希／サウンドシステム：小林悠人



調布サイマテックス

むらさきホールに置かれた楽器を鳴らすと、音をリアルタイムに検出してサイマテックス(cymatics)の原理がテクスチャに反映されたコンピュータグラフィックスの映像が変化します。調布にちなんだ写真が映像の要素に使われています。イメージと音楽がうまく連動する演奏に挑戦してみましょう。

CG：岡崎仁志、作田遼太郎



『Clock: The Busy Days』より

インタラクティブ・ダンスパフォーマンスシステム

モーションセンサーを組み込んだ花束や枕といった小道具を手にとって音楽に合わせて踊ると、動きに合わせて壁面に投影されたコンピュータグラフィックスの映像が変化していきます。

CG：武川貴史、支倉孝光、寺内翼／ダンス：古里春菜／音楽：細井一成

※1回の体験時間のうちに複数の作品を体験いただけます  
※画像は当日公開の作品とは異なる場合があります  
※対象年齢ごとに体験できる作品が変わる場合があります  
※展示作品は都合により変更になる場合があります



児玉幸子 (アーティスト、Vision in Motion 2021 監修)

北海道大学理学部卒、筑波大学芸術学研究所修士、博士(芸術学)。磁性流体のアートプロジェクトを2000年より推進。作品「突き出す、流れる」(2001年SIGGRAPH Art Gallery入選)では、第5回文化庁メディア芸術祭インタラクティブ部門大賞、日本のメディア芸術100選に選ばれる。2009年、文化庁新進芸術家海外研修制度によりニューヨークにおける滞在制作。国内外における個展・グループ展多数。電気通信大学准教授。

電気通信大学児玉幸子研究室について

詳しくは研究室ホームページをご覧ください  
→ <http://www.kodamalab.hc.ucc.ac.jp/>  
(Vision in Motion 2021への申込みはPeatixからお願い致します。)

『Vision in Motion』は、メディアアートのパイオニアであるアーティスト、モホリナジの書籍のタイトルを参照しています。



【お問合せ】

公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団  
文化・コミュニティ事業課文化事業係  
〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1 Tel 042-441-6150  
<https://www.chofu-culture-community.org>